

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材工業株式会社

コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 亀井 啓次

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 岡本 忠久

TEL 03-3578-6001

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,364	8.3	817	51.3	742	84.5	277	489.2
23年3月期第3四半期	23,426	13.0	540	—	402	—	47	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △94百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.84	—
23年3月期第3四半期	0.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,534	37,993	72.3
23年3月期	52,947	38,678	73.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 37,993百万円 23年3月期 38,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,600	12.0	1,700	43.3	1,700	64.3	1,000	346.4	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名） 、 除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	99,002,000 株	23年3月期	99,002,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,332,822 株	23年3月期	1,322,003 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	97,674,916 株	23年3月期3Q	97,695,190 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災による大きな経済的打撃から自動車生産の回復や復興需要を中心に徐々に持ち直してきたところにタイ洪水が発生し、自動車や家電メーカーが大幅減産を余儀なくされるなど、非常に厳しく不透明な状況で推移しました。さらに欧州金融危機や中国の景気減速、円高基調の定着等、依然、予断を許さない状況にあります。

このような事業環境下で、当社グループは震災復旧・復興に全力で協力するとともに、基盤事業の強化、海外事業や新製品販売の拡大に取り組みました。

以上の結果、売上高は25,364百万円(前年同期比8.3%増)となり、営業利益は817百万円(前年同期比51.3%増)となりました。円高による為替差損が前年同期ほどの急騰でなかったことなどにより、経常利益は742百万円(前年同期比84.5%増)、前年同期の退職特別加算金や事業構造改善費用の計上がなかったため、四半期純利益は277百万円(前年同期比489.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①管材システム事業

主力配管材料製品は、震災の復旧・復興向けを優先するとともに、主力製品の販売を強化し、販売が安定的に推移したことから、売上高、利益が大幅に改善しました。エンジニアリング事業は、北九州と四日市に駐在所を開設して地域密着型の事業展開を行い、小規模物件の受注を継続して獲得して、売上高、利益ともに大幅に伸ばしました。「DymatrixTM」については、スマートフォン用電子機器の製造装置向けが堅調で、さらに8月に発売した半導体・FPDプロセスのニーズに対応する樹脂製バルブ&フローコントロール製品「FalconicsTM」の販売が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は16,342百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は871百万円(前年同期比189.4%増)と大幅な増益となりました。

②樹脂事業

鋳物用樹脂及び鋳物用レジンコーテッドサンド(RCS)は、震災やタイ洪水による国内自動車の減産により、また、電子材料用樹脂は液晶パネルの不振により売上高が減少しました。一方、ノンフロン現場発泡断熱材は順調に販売を増やし、売上高は前年を上回りました。利益については、震災後の原料市況の高騰により大幅に圧迫されました。中国の鋳物用フェノール樹脂製造販売会社「旭有機材樹脂(南通)有限公司」は、中国国内の堅調な自動車生産に支えられ売上高、利益とも伸ばしました。

その結果、当セグメントの売上高は9,022百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は54百万円(前年同期比80.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は52,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円減少しました。これはたな卸資産の増加などによる流動資産の増加よりも、投資有価証券を売却したことなどによる固定資産の減少が大きかったためであります。負債は14,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金や短期借入金の増加によるものです。純資産は37,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ685百万円減少しました。これは支払配当金が四半期純利益より大きかったことと、その他有価証券評価差額金が減少したためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年7月29日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360	2,591
受取手形及び売掛金	12,746	13,397
有価証券	78	—
たな卸資産	6,892	7,739
その他	948	911
貸倒引当金	△38	△28
流動資産合計	23,985	24,611
固定資産		
有形固定資産	13,526	13,291
土地	6,044	6,031
その他（純額）	7,482	7,260
無形固定資産	249	294
投資その他の資産		
投資有価証券	10,294	9,442
その他	4,921	4,921
貸倒引当金	△29	△24
投資その他の資産合計	15,186	14,339
固定資産合計	28,962	27,924
資産合計	52,947	52,534
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,904	7,053
短期借入金	1,500	2,437
未払法人税等	140	136
引当金	—	365
その他	2,921	1,885
流動負債合計	11,466	11,877
固定負債		
退職給付引当金	1,267	1,309
役員退職慰労引当金	285	183
その他	1,251	1,172
固定負債合計	2,803	2,665
負債合計	14,269	14,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	26,226	25,917
自己株式	△555	△557
株主資本合計	39,151	38,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△224
為替換算調整勘定	△477	△623
その他の包括利益累計額合計	△473	△846
純資産合計	38,678	37,993
負債純資産合計	52,947	52,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	23,426	25,364
売上原価	16,019	17,749
売上総利益	7,407	7,615
販売費及び一般管理費	6,867	6,798
営業利益	540	817
営業外収益		
受取利息	21	5
受取配当金	37	45
持分法による投資利益	35	27
有価証券償還益	90	—
その他	35	55
営業外収益合計	218	132
営業外費用		
支払利息	4	12
複合金融商品評価損	82	31
為替差損	192	63
支払補償費	—	88
その他	78	13
営業外費用合計	356	207
経常利益	402	742
特別利益		
固定資産売却益	162	65
投資有価証券売却益	—	5
貸倒引当金戻入額	17	—
その他	43	—
特別利益合計	222	70
特別損失		
固定資産除却損	19	174
災害による損失	—	14
異常操業損失	—	75
退職特別加算金	285	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
事業構造改善費用	203	—
特別損失合計	526	263
税金等調整前四半期純利益	98	549
法人税等	56	273
少数株主損益調整前四半期純利益	42	277
少数株主損失(△)	△5	—
四半期純利益	47	277

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△220
為替換算調整勘定	△190	△146
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△5
その他の包括利益合計	△239	△371
四半期包括利益	△197	△94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192	△94
少数株主に係る四半期包括利益	△5	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,005	8,422	23,426	—	23,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,005	8,422	23,426	—	23,426
セグメント利益 (営業利益)	301	281	582	△ 42	540

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額) であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,342	9,022	25,364	—	25,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,342	9,022	25,364	—	25,364
セグメント利益 (営業利益)	871	54	925	△ 108	817

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額) であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。